

〔文化庁〕
令和7年度地域の特色ある
埋蔵文化財活用事業

琉球と薩摩が紡いだ島の宝
沖永良部島

沖永良部島
古墓群は
2025年12月19日
国指定史跡に
答申されました

入場
無料

事前申込み
不要

古墳群

KO

BO

GUN

2月11日(祝)
16:00~18:30
(開場 15:30)

おきえらぶ文化ホール
あしびの郷・ちな



参加特典

国指定史跡答申、記念
特製ブックレット&グッズを
先着200名に
プレゼント!!



古墓についての アンケート・質問を受付中!
受付期間: 2月2日(月) 24時まで
シンポジウム内で取り上げるかも!?



シンポジウムの詳細は
こちらのリンクを CHECK!
当日の様子をYouTubeでLIVE 配信します!
Q おきえらぶ文化ホールあしびの郷・ちな で検索

主催: 知名町教育委員会・和泊町教育委員会

後援: 奄美考古学会・奄美群島文化財保護対策連絡協議会・(一社)おきのえらぶ島観光協会

お問い合わせ先

おきえらぶ文化ホール あしびの郷・ちな ☎0997-81-5151
和泊町歴史民俗資料館内 文化財作業室 ☎0997-92-0911

アーニマがヤトウール墓

屋者がジマル墓

新城花塗ニヤトウ墓

せ之至の墓

“おきのえらぶじま 沖永良部島 古墓群 とは？”

沖永良部島には、和泊町の世之主の墓をはじめ、知名町の新城花窪ニヤートゥ墓・屋者ガジマル墓・アーニマガヤトゥール墓など、琉球王国の影響を受けて成立した、前庭を持つ特徴的な造形の大形石造り掘込墓が数多く残されています。

これらの墓からは、お供えに使われたり、遺骨を納めるために使われたりした陶磁器などが見つかっており、それらは琉球のモノだけでなく、薩摩など日本本土のモノや、中国のモノなどが確認されています。

こうした大形石造り掘込墓が集中して見られるのは、奄美群島の中でも沖永良部島だけです。

去る12月19日、国の文化審議会は「沖永良部島古墓群」について、「奄美と沖縄、さらに九州南部等との文化交流を示す貴重な遺跡として重要である」とし、国の史跡に指定するよう答申しました。この答申を踏まえて近く告示され、沖永良部島古墓群は正式に国指定史跡となる見通しです。

本シンポジウムは、地域の皆さんと一緒に「沖永良部島古墓群」の歴史や魅力を深掘りし、さらにこれからの保存・活用について考える場になりたいと思います。

新城花窪ニヤートゥ墓

世之主の墓

アーニマガヤトゥール墓

屋者ガジマル墓

プログラム

16:00 ■ 第1部 ■ 基調講演

「南島の古墓
—沖永良部島古墓群の位置関係—」
(上原 静氏)

口頭発表

パネリストの専門分野からみる「沖永良部島古墓群」I

「古墓の陶磁器が教えてくれること」(渡辺 芳郎氏)
「古墓はなぜ生まれたのか」(町 健次郎氏)

17:15 ■ 第2部 ■ ポスター発表

パネリストの専門分野からみる「沖永良部島古墓群」II

「古墓の人骨が教えてくれること」(竹中 正巳氏)
両町教育委員会の調査成果報告 (仲田／北野)



17:45 ■ 第3部 ■ 沖永良部島古墓群の“未来会議”
みんなで語ろう
サイエンス
カフェ
専門家から地域・学校・観光関係者、そして地元の学芸員まで
…みんなで語る!!

18:30 終了

パネリスト



沖繩国際大学名誉教授
(考古学)

上原 静氏



鹿児島大学教授
(考古学)

渡辺 芳郎氏



鹿児島女子短期大学教授
(人骨考古学)

竹中 正巳氏



瀬戸内町立図書館・
郷土館館長 (民俗学)

町 健次郎氏

知名町教育委員会生涯学習係

文化財担当 (学芸員)

仲田 真一郎

和泊町教育委員会生涯学習係

文化財担当 (学芸員)

北野 堪重郎

コメンテーター

文化庁文化財第二課史跡部門主任文化財調査官
渋谷 啓一

鹿児島県教育庁文化財課文化財主事
岩永 勇亮

コーディネーター (第3部)



えらぶ二世・
沖永良部島在住の
社会教育士
ネルソン水嶋